

【重要なお知らせとお詫び】

第26回会長杯テニス大会における決勝トーナメント進出ペア決定の誤りについて

平素より当テニス協会の事業および大会運営にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2026年10月11日に開催いたしました「第26回会長杯テニス大会」男子C級ダブルスにおきまして、予選リーグから決勝トーナメントへの進出ペアを決定する際、運営本部（レフェリー）のルール適用・判定に誤りがあり、本来決勝トーナメントに進出する権利を有していたペアが進出できないという重大な運営ミスが発生いたしました。

本件により多大なご迷惑とご不快の念をおかけしました当該選手の皆様に、深くお詫び申し上げます。また、大会に参加されたすべての選手の皆様、関係者の皆様の信頼を損ねる結果となりましたことを重ねてお詫び申し上げます。

本件の経緯および原因、ならびに今後の再発防止策について、以下の通りご報告いたします。

1. 発生した事象

男子C級ダブルス予選リーグ終了後、各ブロック2位ペアの中から決勝トーナメントへ進出するワイルドカード（進出枠）を決定する際、本来進出すべきであった「2勝0敗（取得ゲーム率0.571）」のペアを選出せず、誤って「1勝1敗（取得ゲーム率0.647）」のペアを進出と決定いたしました。

2. 原因と協会の見解

本大会のドロー表には、以下のルールを明記しておりました。

- 各ブロックの2位のうち、勝率の高かった2ペアが決勝トーナメントに進出することができます。
- 勝率の優先順位は次の通りとします。
 - ① 勝率
 - ② 取得ゲーム率（取得ゲーム数/総ゲーム数）
 - ③ 抽選

しかしながら、協会の競技規則において、予選のクロス方式に関する条項の末尾に「取得ゲーム率の高い順に推薦し…」という記述があり、これを現場のレフェリーが

ドロー表記載の優先順位（勝率優先）ではなく、規約文言の表面的な解釈に囚われ「取得ゲーム率」を最優先として判定を下してしまったことが直接の原因です。

協会内部で改めて協議・検証を行いました結果、本大会ドロー表に記載されたルールおよび従来の大会運用の実情に基づけば、2勝を挙げたペアが進出すべきであり、現場でのレフェリーの判断は協会の明白な誤りであったと判断いたしました。

3. 再発防止策

協会として今回の事態を極めて重く受け止め、二度と同様の事態を発生させないため、以下の再発防止策を講じます。

- ① 競技規則・規約の見直しと明確化
「勝率」および「順位決定基準」の定義・条項を精査し、解釈の齟齬が生じない明確かつ整合性の取れた文言へと早急に改訂いたします。
- ② 大会運営レフェリー・ディレクター間の運用徹底
ドロー記載事項と競技規則の適用優先順位について、大会前・当日の打ち合わせを義務付け、現場役員全員での周知徹底を図ります。
- ③ 選手からの申し立てに対する確認体制の強化
選手からルールの解釈・判定に関する申し立てがあった際は、単一のレフェリーのための判断で即座に棄却せず、複数の役員・競技委員で事実確認および規則の照合を行う体制を整備いたします。

改めまして、ご出場いただきました選手ならびに関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、心より深くお詫び申し上げます。

皆様が安心してフェアに競技を楽しんでいただける大会運営を目指し、信頼回復に努めてまいります。

2026年10月15日
東広島市テニス協会
会長 佐々木正博